



i
Garden Air

・ 千代田飯田町〈アイガーデンエア〉



i
Garden Air
千代田区飯田町 (アイガーデンエア)

●ネーミング意図
ガーデンをわたる爽やかな風、広々とした空間をイメージ。次元を超越した空気感を描いた街をイメージさせ、憩いの時間を過ごす都市にふさわしいネーミングです。「i」は、飯田橋、IDENTITY (歴史のある街)、i (私)。愛GARDENは、庭園、公園、緑と水のある空間AIRは、空間、そよ風、大気、空気、空、旋律

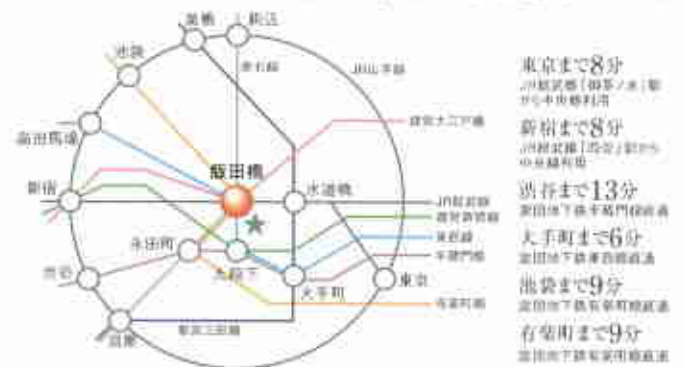
●ロゴマーク意図
「i」は人を表わし、私であるということ。一体感ある複合開発をシンボライズした「O」、その中心に人がいることを表現しました。

ひとと自然のふれあいを大切にしました。

緑で結ばれる、広大な都市空間

千代田区飯田町、小石川後楽園、皇居、靖国神社へと伸びる緑の空間と連携するように、新しい緑に包まれた都市の庭(ガーデン)が誕生します。「働く・住まう・集う・憩う」が調和する環境創造型の高層複合都市を目指して、すべての人々がやすらぎ、潤い、開放感を感じる理想の空間を創造しました。都心だからこそ、緑と水のふれあいを大切にしたい…。吹き抜ける風にふれ、自由に豊かな時間を大切にしたい…。2003年春、新鮮で心地よい空気を呼び込んで、「I-GARDEN AIR」(アイガーデンエア)が誕生しました。

I-GARDEN AIRから広がる多彩な交通ネットワーク



緑とやすらぎ、コミュニティを育む開放空間を創りました。

都心であるからこそ、落ち着いた緑で演出し、ゆとりに満ちたオープンスペースを多彩にレイアウト。街路や広場、そして中央街区の商業施設のテラス、南街区のショールームなど各建物も街の開放空間として、新しいコミュニティを形にしました。

●飯田橋エントランス

都心の主要ターミナル駅となる、JR「飯田橋」駅方面からのアプローチは、甲武鉄道(現JR中央線)の起点駅となった歴史に配慮した演出。敷地にはいると、中央街区に向かって光を放つレールが伸び、アイガーデンテラスの空間に導きます。



●平川の径

その昔、当地を流れていた平川の流れを、後世に伝える「平川の径」。平川の護岸石だった石を使い、川のように緩やかな曲線を描いて続くペーパメント(舗道)です。街路の木々が季節感を、そして歴史を今に伝える散策路となります。



●ガーデンモール

九段下方面の入り口から、中央街区へと伸びる「ガーデンモール」は、周辺の街とアイガーデンエアを結ぶ緑の結節点の役割を果たします。ビジネスやここに住まう人たちの、新しい出会いを演出します。



●あいあい橋

以前は日本橋川で分断されていた「水道橋」駅方面にも行き来できる歩行者専用の橋です。「ガーデンウォーク」とともに親水空間として、やすらぎのひとつを提供するとともに、人の流れを作ることです。街は賑わいます。



●フロントフォーラム

飯田橋駅と水道橋駅の交流点となる「フロントフォーラム」はI-GARDEN AIRのメインとなる広場。人との交流を大切にしたい空間です。この広場は屋上を緑化したアイガーデンテラスと一体となって、草やかなイベントの開催や、噴水・モニュメントなど水と緑の景観演出で快適に過ごせる空間となりました。



●ガーデンアベニュー

周辺エリアとのアクセスを親密にする「ガーデンアベニュー」は、緑豊かな並木道。南北に伸びる「平川の径」と「ガーデンモール」の間にモニュメントを設けることにより、2つのモールを結び、街を一体化させる雰囲気演出します。



●ガーデンウォーク

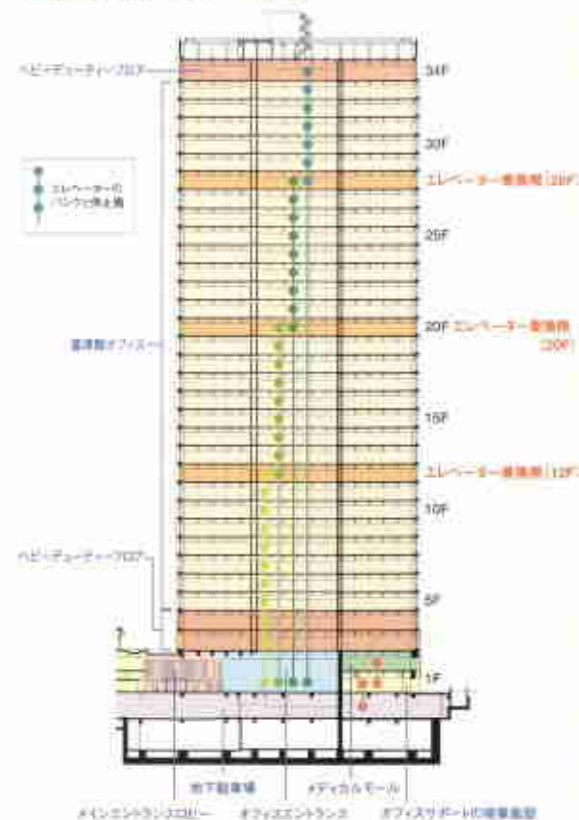
日本橋川沿いにゆとりのある歩道空間として「ガーデンウォーク」をレイアウト。約300mにわたるこのプロムナードには桜の木々とともに、ウッドデッキを配置しました。都市の親水空間として人々に憩いの時間をお届けします。



超高層の存在感を示す東京の新しいランドマーク

洗練されたデザインを誇る高さ150mの超高層ビルは、飯田町だけにとどまらず東京の新しいランドマークと呼ぶにふさわしい存在感を示します。そのフォルムは、光を反射するガラスカーテンウォールと花崗岩とガラスからなるプレキャストコンクリートカーテンウォールを採用することにより遠方からでも視認性が高く、企業イメージをアップさせてくれる品格と機能性を備えています。

■ガーデン エア タワー 断面図



●開放的で気品あふれるメインエントランスロビー

ガラス・石・金属・木などの多彩な材料の特性を活かし、風合い豊かで気品あふれる空間としました。2階吹き抜けのアトリウムは、明るく大きな開放感で来館者を迎え入れます。



●自然感覚を取り込んだオフィスエントランス

木調素材や石灰石を使用し、自然感覚を取り込んだ暖かみのあるエントランスは、オフィスのグレード感をさらに高めます。



●1フロア1ルーム1,700㎡の無柱整形空間

1フロアで約1,700㎡ (約510坪) の広々とした無柱空間を実現。奥行16.4mの大空間を生みだし、3.2m×3.2mのモジュール計画と、全方向採光・全方向眺望の快適な空間により多様なニーズに応えるプランになっています。

●個別制御が可能な空調システム

室内温度や使用時間を各フロアごとに調整できる空調システムを採用。1フロア4つの想定区画とベリメーター空調機の小区画での制御が可能です。また室内は、変風量方式 (VAV) により、さら細かい温度制御が可能です。

●光ケーブルを採用した通信設備

ビルへの電話引き込み回線はメタルケーブル・光ケーブルを併用。館内はMDFから各階のIDFまでメタルケーブルを敷設しています。また、光ケーブルも比較的容易に引き込めるよう、専用のルートを確認しています。EPSから貸室内まで通信回線の横引きは、他の区画を迂回しないルートが確保されています。

●情報化時代に対応した床荷重

全階にフリーアクセスフロア (床高100mm) を実装しており、コンピュータネットワークを導入してもフレキシブルな配線が可能です。1フロアの1㎡あたりの床荷重は300kg/㎡ (一部800kg/㎡) まで対応できます。また、3階・4階の一部は床荷重1,000kg/㎡のヘビーデューティゾーンとなっており、大型のOA機や大型電算機、重量のあるコンピュータの設置にも対応できます。

●設定自在な非接触ICカードを採用

テナント主出入口にカードリーダーを設置し、近接型非接触ICカードの電気制御による入退室が可能になります。このシステムは、テナントのニーズにより、施設方法を自在に設定できます。

●オフィス内の空気をきれいに保つための喫煙ルーム

各フロアに排気ダクトを配備していますので2カ所の喫煙ルームを設置することが可能です。オフィス内の空気をきれいに保ち、喫煙される方も喫煙されない方も安心して快適な空間で働けます。

●自然光を取り入れた明るいトイレ

自然光を取り入れ、明るく広い快適な空間としました。小便器の配置や個室数にも余裕を持たせ、温水洗浄便座やエアタオルなどを装備しています。また、洗面ゾーンを分離させ、男女とも洗面室内には歯磨きコーナーを設置しています。

●ダブルチューブ架構と制振壁

構造部分は、高い耐震性・耐風性を追求したダブルチューブ架構と制振壁を採用。建物外側部ならびに内部の隔壁部分に柱を二重に配したダブルチューブ架構により、建物の剛性と耐力を高めています。さらに伸び性能の高い鋼板壁である積層鋼制壁壁を使用することで、地震時のエネルギーを吸収し、主要構造部分の損傷を最小限に抑えます。

●健康をサポートするメディカルモール

2階には、オフィスワーカーの健康をサポートするメディカルモールが設置されます。専門が異なる複数のクリニックは、ガーデン エア タワーだけではなく、街全体のホームドクターの役割を果たします。



▲エレベーターホール



▲車寄せ



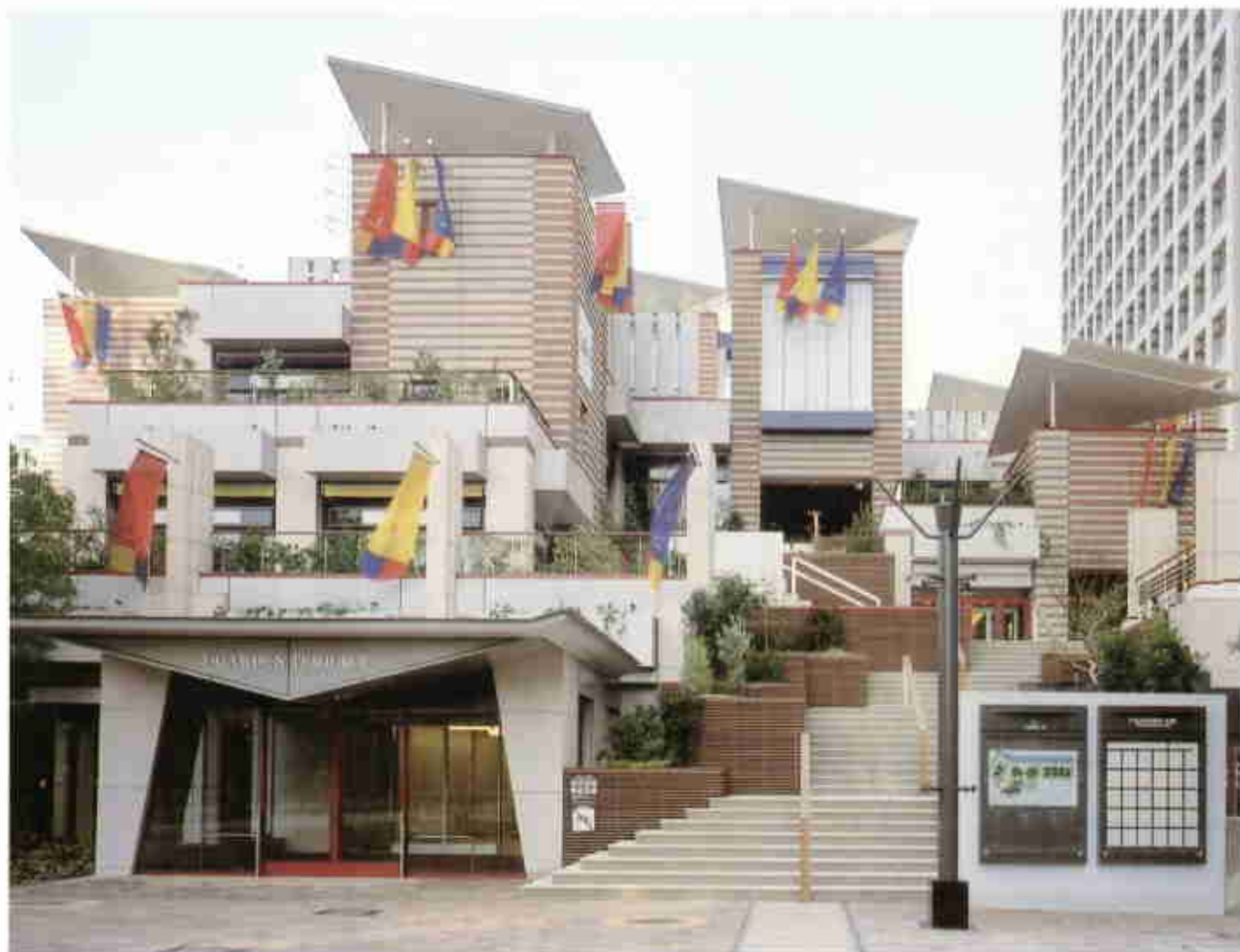
▲自然光の射し込むトイレ

低層基準階平面図



■建物概要 (アイ ガーデン テラスを含む)

| 種別 | 名称 | 所在地 | 東京都千代田区飯田町3-10-10 |
|-------|----|---------------------------------|-------------------|
| 着工 | 工 | 2005年9月 | |
| 竣工 | 工 | 2005年1月 | |
| 設計 | 計 | 内田建築設計 | |
| 施工 | 土 | 鹿島・清水・鉄建・大成・東谷JV | |
| 階数 | 新 | 地上35階・地下2階・塔屋1階 | |
| 延床面積 | 計 | 約145,955㎡ | 最高高182.80m |
| 総延床面積 | 計 | 53,154.80㎡ | |
| 延床面積 | 計 | 55,403.23㎡ | |
| 延床面積 | 計 | 56,250.92㎡ | |
| 駐車場 | 庫 | 219台 (自走式137台・管理用等10台含む)・機械式81台 | |
| 備考 | 備 | 東京都第一建設局建築コンクリート賞 | |



アイガーデンテラスには、カフェ&レストランやコンビニエンスストアなどが入り、噴水やモニュメント、テラスやベンチなどの景観演出とともに街に賑わいを放ちます。また、アイガーデンエアのメイン広場となる「フロントフォーラム」と一体となって、オフィスワーカーの憩いのスペースだけではなく、周辺地域の方々にも滞在と賑わいの時間を提供します。人が集まり、人が楽しむための商業施設となりました。



環境にやさしい鉄道輸送ネットワークを全国展開する日本貨物鉄道株式会社と、総合生活産業として、社会の様々な領域へ真の豊かさをお届けする大和ハウス工業㈱の東京ビル。環境との共生を基本理念に、次世代オフィスビルとして、インフラの構築と人間工学に基づいたオフィス環境を実現。ゴミを22種類に分別し、3R (Reuse・Recycle・Reduce) に基づく循環型リサイクルシステムを採用。また、生ゴミを水と炭酸ガスに分解する生ゴミ処理機の設置やリサイクル可能なタイルカーペットやOAフロアを採用。水蓄熱空調システム、ガスコージェネレーション、中水処理施設等のシステムを導入し、電力・熱・水の負荷を削減し、環境にやさしく消費エネルギーの節減を目指したオフィスビルです。平成12年には「ニューオフィス環境奨励賞」を、平成14年には「(財)建築環境・省エネルギー機構 理事長賞」を受賞しました。

●心地よい光環境を実現したエントランスロビー

床・壁・天井の色彩をコントロールし、窓の大きさやガラスの材質などに工夫を凝らしております。適度に外光を取り入れた心地よいエントランスロビーとなっております。



●IACC協定の「東京コンファレンスセンター」

日本初、IACC (国際コンファレンス協会) 認定の国際規定に準拠した大小15の会議施設です。空調・照明・通信・AVの各システムが、様々なミーティングシーンに効果的に機能します。



●ツーリストカウンター

ビルの1階には、各種旅行のチケットやホテルを手配できる利便性の高いツーリストカウンターがあります。



■建物概要

| | |
|------|---|
| 所在地 | 東京都千代田区新大塚3-13-1 |
| 竣工 | 1999年5月 |
| 設計 | 大和ハウス工業・日建設計 設計監理共同企業体 |
| 施工 | 大和ハウス工業・戸田・森達 建設共同企業体 |
| 階数 | 地上23階・地下2階・用途2階 |
| 建物高さ | 軒高97.80m 最高高187.55m |
| 敷地面積 | 8,600.12㎡ |
| 延床面積 | 4,081.38㎡ |
| 鉄骨面積 | 67,246.78㎡ |
| 構造 | 地上部分:鉄骨造 地下部分:鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部鉄筋コンクリート造) |

地球環境保護に貢献する リーディングカンパニーの本社ビル



株式会社 大塚商会

三方向をガラス張りとし、十分な天井高を確保するなど、明るく快適なオフィス空間を実現。建物には、精密機器を守るための制震構造を採用、将来的に電気設備の増加を見込んだ十分なシャフトスペースを確保するなど、まさに情報産業のリーディングカンパニーに相応しい先進的な本社ビルとなっております。また、蓄熱槽の設置、エアフローウィンドウの採用、雨水を再利用するなど消費エネルギーを削減する「地球環境保護」に貢献できる本社ビルとしています。



▲1F・ショールーム

■建物概要

| | |
|-------|-----------------------------|
| 所在地 | 東京都千代田区豊洲2-18-4 |
| 竣工 | 2001年2月 |
| 竣工 | 2002年1月 |
| 設計・監理 | 日建設計 |
| 施工 | 竹中・熊谷・大成・大和ハウス・大東・藤本建設共同企業体 |
| 階数 | 地上27階 地下2階 屋上1階 |
| 延床面積 | 約57,85㎡ 延床高約4.55m(1F~28F) |
| 総工費 | 23,543,144円 |
| 構造 | 鉄骨造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造 |

7つのコンセプトを基本に、 快適なオフィス空間を実現



マクセル東京ビルは、「シンボル」「クオリティ」「フレキシビリティ」「アメニティ」「リーズナブル」「セーフティ」「クリエイティビティ」の7つのコンセプトをもとに設計され、オフィスビルにとっての快適性を追求した空間を実現しました。また当ビルは省エネ・省資源を考慮して設計されております。具体例としては明るさセンサー照明調光制御を用い外からの光をセンサーが感知し、オフィス内の蛍光灯照明の光量を調節しています。トイレ等においては人感センサーにより、無人時の消灯を行っています。省資源対策としては雨水をトイレなどの洗浄水として利用しております。当ビル内にはショールームやAVルーム等いろいろな施設を完備しておりますが、特にバリアフリーを配慮した設備・機器は東京都から「福祉のまちづくり整備基準2001」に適合したビルとして認定されています。



▲1F・ショールーム

■建物概要

| | |
|------|---------------------------|
| 所在地 | 東京都千代田区豊洲2-18-2 |
| 竣工 | 2001年2月 |
| 竣工 | 2002年4月 |
| 設計 | 日建設計 |
| 施工 | 清水・沢田・金屋建設共同企業体他社 |
| 階数 | 地上13階 地下1階 屋上1階 |
| 延床面積 | 約40,50㎡ 延床高約4.55m(1F~13F) |
| 総工費 | 15,107,844円 |
| 構造 | 鉄骨造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造 |

設計事務所にふさわしい 実質本位のオフィスビル

日建設計

整った街並みをつくることを目指し、隣接する大塚商会本社ビルとマクセル東京ビルとは、建物高さ、壁面線、1階のセットバック面を統一しています。

設計事務所のオフィスにふさわしい建物となるよう、プラン、外装、設備、ディテールに至るまで、実質本位な建物を目指しました。特に東西面に設置された外付電動ブラインドは、日射を外部で処理することにより快適なオフィス環境を確保し、特徴のある表情を創り出しています。また1階の緑陰モール側にギャラリーを配置し、作品のパネルや模型などの展示を行う予定です。災害発生時には、当社が携った建物の調査、復旧支援の拠点となるよう、防災に対する対策を施しています。

■建物概要

| | |
|------|--------------------------|
| 所在地 | 東京都千代田区豊洲2-18-3 |
| 竣工 | 2001年9月 |
| 竣工 | 2003年3月 |
| 設計 | 日建設計 |
| 施工 | 日建設計、熊谷利爾、藤原建設 |
| 階数 | 地上14階 地下1階 |
| 延床面積 | 約52,86㎡ 延床高約6.0m(1F~14F) |
| 総工費 | 20,500,884円 |
| 構造 | 鉄骨造 一部鉄筋コンクリート造 |



リアルな体験を通して、 最先端の家づくりをご提案



D-TEC PLAZA では、「人と地球にやさしい家」をテーマに、快適でうるおいある暮らしを実現するための機能や性能を、様々な展示物を通してご紹介しています。実際に見て、触れて、感じて、体験してお確かめください。

フリーコール 0120-911-838
○営業時間 AM10:00~PM5:00
○水曜休館日



▲2F・ディーテックスマートハウス



▲2F・免費ハウス

ナチュラルで、明るく、快適な空間。環境にも配慮した、くつろぎのホテル。



Hotel Metropolitan
EDMONT

このホテルには、静かにゆったりとたどる味わいがあります。陶・石・木など自然の素材を組み合わせた建物、水と緑を配した内装、その一つ一つがおだやかなやすらぎの空間を形づくっています。そして、ここで展開するたくさんのドラマはゲスト一人一人が主役です。ゲストルーム、宴会場、レストラン、あらゆる場面が、ふさわしい満足と味わいのひとときになるよう、心のこもったサービスと、おいしい料理でおもてないたします。

●ロビーラウンジ

「透明な浮遊感」をコンセプトにリニューアル。一人一人の時間・感覚をゆったりと包み込み、安堵感あふれるロビーです。



本館エントランス

チャペル

●エグゼクティブフロア・サロン

平成14年12月にオープン。通常フロアより落ち着いたシックなインテリアで装いました。フロア専用のサロンでチェックイン・アウトができるほか、軽食やドリンクのサービスも提供されます。



EAST WING
イーストウィング

シングル中心でビジネス利用の多い本館に対して、新館は広めのツインを主体とし、ファミリーやカップルなどのレジャー客向けの客室構成になっています。客室は、ナチュラルな木目を多用した明るい雰囲気デザインコンセプトに、天井高2,700mmと高め、ベッド幅を1,200mmと広げ、寝具はデュベタイプを採用しました。全室に加湿器を装備するなど快適性を高めるとともに、LANや光ファイバーを導入するなどIT環境も整備されています。

●客室



スーパーファミリー

●ダイニングbuffet「ベルテンポ」



■建物概要

| | |
|------|----------------------------|
| 所在地 | 東京都千代田区豊田9-10-9 |
| 設計 | 東京大学大学院工学部都市工学専攻第一建築士事務所 |
| 施工 | 鉄建・財団 建設共同企業体 |
| 階数 | 地下2階、地上14階 |
| 建物高さ | 56.20m |
| 延床面積 | 43,971.49㎡(敷地面積18,917.76㎡) |
| 客室数 | 本館445室/新館200室 |
| 駐車場 | 113台(53新設/45分) |
| 備 考 | 鉄骨鉄筋コンクリート造 一創創発造 |



●通り抜け通路

ホテルメトロポリタンエドモントとシニアワーク東京の間には、地域住民の方々の利便性を考慮して通り抜け通路を整備しました。

●ポケットパーク

フロントフォーラムに隣接したポケットパークは、オフィスワーカーや来街者の憩いのスペースとなります。



人が快適に住まう街



都心にふさわしいアーバンスタイル住宅“TOKYO RESIDE NCE”を供給し、多くの人が暮らすことでヒューマニティーを感じられる街を創ります。ビジネスと人の暮らしが融合した、新しい都心のカタチが生まれます。

●上質なくつろぎで満たされた住空間

上質なテクスチャーをまとった壁紙、重厚で落ち着きのある木材を使用したフローリング、やわらかな光を放つ間接照明など、暮らすほどに愛着が深まり、毎日が上質なくつろぎに満たされる住空間となっております。



●建物概要

| | |
|------|---------------------------------------|
| 所在地 | 東京都千代田区飯田町2-18-1 |
| 竣工 | 2021年2月 |
| 竣工 | 2023年3月 |
| 設計 | 西日建ハウジングシステム |
| 施工 | 清水建設 |
| 階数 | 地上28階、地下2階、増屋1階 |
| 建築高さ | 軒高105.2m、最高高109.0m |
| 延床面積 | 30,516.11㎡ |
| 住戸数 | 248戸 |
| 構造 | 鉄骨コンクリート造 |
| 事業者 | 日産製鋼、大和ハウス工業、日産製鋼不動産、住吉リアルエステート、不動産開発 |

●コラボレートカフェ

人と人が出会い、人と街が付き合いを深める一人との間をあたたかな絆で結び、ヒューマンネットワークを広げるコラボレートカフェ。時間と空間を自在にコントロールし、プライベートな世界を築ける自由なスペースです。



コラボレートカフェよりガーデンモールを望む(完成予想図)

家康とともに発展してきた“飯田町”をひもとく

城を守る武家の街として生まれた飯田町。現在の九段から飯田橋にかけて、古くは飯田町と呼ばれていました。1590年、江戸に拠点を構えた徳川家康が、飯田喜平衛という農民にこの地の事情を尋ねたことが、その名の起源だといわれています。家康は、飯田町を千代田城の北の守りの要として、家臣の大名や旗本の屋敷を配置。土地区画整理施行地区は、関ヶ原の戦いに名を残した榊原康政の屋敷、その後は譜代高松藩松平家の上屋敷が建てられました。



平成7年飯田町遺物調査報告書



天文三年(1553年)の人文化

かつて、江戸の中心を流れていた平川。もともと「入り江の河口」という意味から名づけられた江戸には、日比谷の入り江に向かっていくつもの川が流れ込んでいました。その中でも大きな川のひとつが、中心部を流れる平川。しかし、17世紀頃に現在の三崎橋から扇留橋までの間に武家屋敷を建てるため、埋め立てられたと考えられています。その後、川は明治になって現在の日本橋川となって整備されました。



扇留橋跡

土地区画整理事業にもあつて千代田区飯田町2-18-1の地は、江戸時代の武家屋敷跡が確認されました。扇留橋跡は、橋脚遺跡として約2.5mの地点では江戸時代の榊原康政の屋敷跡、さらにその奥約1mの地点からは、江戸中期から幕末までの高松藩松平家の上屋敷跡が確認されました。

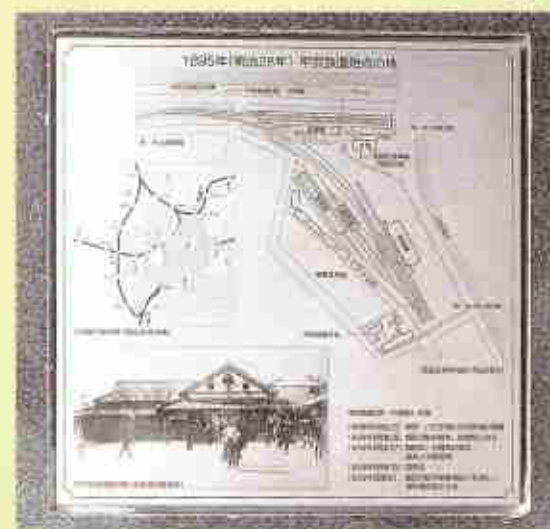


甲武鉄道(交通博物館前)

交通の要所、物流拠点として発展した飯田町。日本が近代化へ向け大きく前進し始めた明治時代。飯田町にひとつの転機が訪れました。明治28年、甲武鉄道(新宿～八王子間に明治22年開業)が延長され、都心部の起点となる飯田町駅が開業しました。江戸時代から水上・陸上ともに輸送の拠点として重要な役割を果たしていた平川の扇留に加え、この駅の開業により、飯田町はさらにターミナルとしての機能を強めました。昭和時代になり、終戦直前の東京大空襲で街は焼失しましたが、戦後は紙などの物流拠点として人と物が集まる中心地へと大きく発展してきました。

飯田町駅の沿革

飯田町駅は明治28年4月に甲武鉄道市街線の旅客駅として開業し、明治39年10月の鉄道国有法により国有化されましたが、昭和8年7月に旅客取扱いを廃止し、貨物専用駅となりました。その後、飯田町駅は紙の需要先である新聞社、出版社の大半が立地する好位置にあることから、専用列車による輸送と保管の直結、流通経費の削減と鉄道輸送量の増加を目指して、昭和48年4月に飯田町紙流通センターが設立されました。そして、昭和82年の国鉄改革に伴いJR貨物に継承されました。同年の取扱量は、発送が27千トン、到着が772千トンでしたが、その後の周辺環境の変化などにより取扱量が著しく減少したことから、その機能を瑞穂川駅および新座貨物ターミナル駅に分散移転することとなり、平成9年3月に列車の運転を取り止め、コンテナ代行駅として営業を続けましたが、平成11年3月、駅業務を全面廃止しました。



あたらしい都市空間の創造

■事業の目的

日本貨物鉄道(株)飯田町駅の大規模跡地を中心に、その周辺部を含めて土地区画整理事業を行なうことにより、公共施設の整備改善および宅地利用の増進を図ることを目的としました。

■土地利用計画

本地区は、地域全体として多様な機能が融合した活力ある地域の形成を図るため、居住・業務・商業などの諸機能がバランスよく配置された良好な市街地の形成を目指しました。

■公共施設計画

南北道路(区画道路1号:計画幅員13m~25m)と東西道路(区画道路2号および3号:計画幅員11m)の配置により、鉄道施設があるため分断されていた区域の連絡を図りました。また、地区計画において約2,700㎡の地区施設の広場が整備されました。(東京都市計画地区計画の決定:平成11年12月)

■減歩率表

| 減歩率(%) | | |
|--------|-----|------|
| 公共 | 保留地 | 合算 |
| 14.6 | 6.2 | 20.8 |

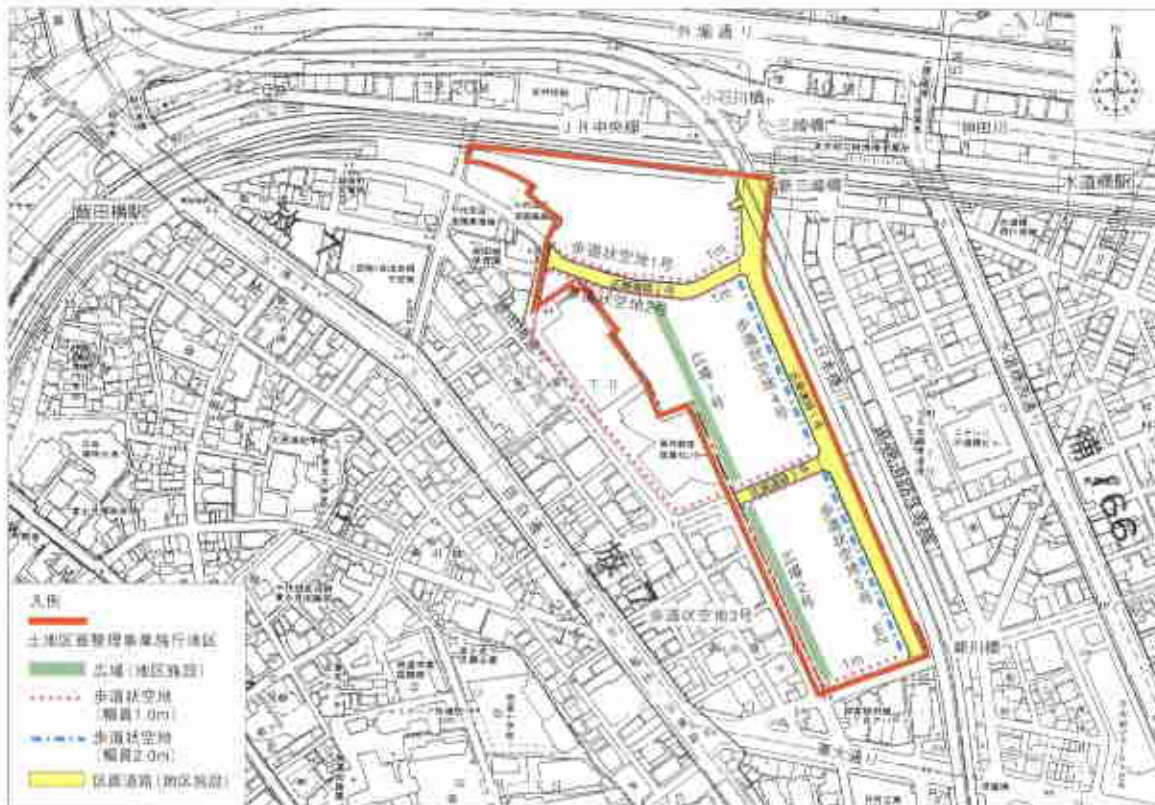
■事業スケジュール

| | |
|---------|---------------------------|
| 平成10年3月 | 千代田区飯田町土地区画整理事業(共同施行)施行認可 |
| 10月 | 仮換地指定 |
| 平成11年3月 | 日本貨物鉄道飯田町駅廃止 |
| 3月 | 千代田区飯田町土地区画整理組合設立認可 |
| 7月 | 飯田町紙流通センター移転完了 |
| 12月 | 飯田橋二・三丁目地区地区計画決定 |
| 平成12年3月 | 区画道路2号開通 |
| 平成13年3月 | 区画道路1号・3号開通 |
| 3月 | JR東日本保守基地移設工事完了 |
| 平成14年2月 | 橋梁開通 |
| 6月 | 換地公告・登記完了 |
| 9月 | 組合解散認可 |

■区画整理施行前後の土地対照表

| 種 目 | 施行前 | | 施行後 | |
|-------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 面積(㎡) | 割合(%) | 面積(㎡) | 割合(%) |
| 公有用地 | 1,389.40 | 2.78 | 8,508.04 | 16.99 |
| 宅 地 | 48,680.06 | 97.22 | 38,561.50 | 77.02 |
| 保 留 地 | — | — | 3,000.00 | 5.99 |
| 計 | 50,069.54 | 100.00 | 50,069.54 | 100.00 |

■計画図



いつまでも愛される街づくりを目指して

「I-GARDEN AIR」を魅力ある街に実現・維持するため、環境整備・維持管理・運営管理など、街づくりの実施方法について協議・決定することを目的として、飯田町開発地区の北・中央・南街区の地権者などからなる「アイ ガーデン エア タウンマネジメント協議会」を設立し、いつまでも愛される街づくりを目指して活動を開始しています。

●お問い合わせ

アイ ガーデン エア タウンマネジメント協議会事務局
三井不動産株式会社 飯田橋オフィス
 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋三丁目10番10号ガーデン エア タワー内
 電話番号: 03-5225-7210 <http://www.i-gardenair.com>

アイ ガーデン エア タウンマネジメント協議会

- 日本貨物鉄道(株)
- 大和ハウス工業(株)
- 東日本旅客鉄道(株)
- (株)ホリス・エグジゼクティブ
- (株)大塚商会
- (株)日建設計
- 日立マクセル(株)
- 車道レジデンス
- ガーデンエアタワー 三井不動産(株)
- アイガーデンデラズ 大和ハウス工業(株)

事務局
 三井不動産(株)
 飯田橋オフィス